

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラス・ワン岐阜		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 7年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 4日		～ 令和 8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に基づいた、日替わりの療育活動	とにかく子ども達が「楽しい!」と思ってくれることを第一に、職員全員で意見を出し合いながら活動を実施しています。	全員が同じ活動をする中で、一人ひとりに合わせた達成目標と、それに合わせた支援方法がまだまだ不十分と考えています。また、職員間の【どこまで見守り、どこからサポートするか】の認識に差があり、職員一人ひとりのスキル向上と支援方法の周知を行っていききたいと思います。
2	中高生に特化した、就労・自立に向けた活動内容	今年度の夏休みには実際に工場に出向いてお仕事体験をさせていただきました。子ども達の自己有用感を高められるよう支援を行っています。 生活自立に向けた様々な練習を行っています。身だしなみの保持、簡単な家事も活動に取り入れて行っています。	就労継続支援事業所の見学なども検討しています。 余暇と活動(作業)のメリハリをつけながら、達成感、満足感、責任感を味わえるような活動を模索していきます。
3	月1回のイベントDay	まずは子ども達の「これがやりたい!」「こんなことをやってみたい!」を大切にしています。子ども達がワクワクする姿を想像しながら計画することが成功に繋がっていると感じています。	活動内容がマンネリ化しないよう、いろいろな分野にアンテナを張りながら、活動の立案を行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの間取りの関係で、余暇時間の過ごし方が限られてくる。やりたいことができずに我慢している子もいる。 【保護者からの事業所評価：1、3、4】	・指導訓練室が1フロアの為、クールダウンをしたり静かに過ごせるような十分な静養室が確保できないのが現状です。	・安全にも配慮しながら、パーティションで区切るなど、出来る限りの工夫をしています。
2	専門的支援の未実施 (PT,OT,ST,心理士等) 【保護者からの事業所評価：2、14、】	・職員のスキルアップの機会(外部研修等)が少ないと感じています。	・積極的に研修に参加し、職員一人ひとりが向上心を持って仕事に取り組めるようにしていきます。
3	障害のない児童や地域の方との交流の場がない 【保護者からの事業所評価：11】	・学校がバラバラなので、放課後児童クラブとの交流の機会は難しい。年齢的な面で近隣の児童館や施設に出かけるのが難しいと感じています。	・地域清掃などを活動に取り入れて行います。 ・地域の子と交流できるイベントや場所にアンテナを張り、関われる機会を模索していきます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○					
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○					
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			保護者様に事業所に来所いただき、お子様の様子を見ていただく機会を設けています。その上で、成長した点、現状での困り感などをお聞きし、参考にさせていただいています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			事業所内での活動にて「LST」「SST」「工作」「運動」など幅広く取り入れ、施設外活動では地域の社会資源を利用しています。	就労施設への見学の機会など設けていきたいと思っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○					
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			現場の職員の意見を収集した上で、児発管が参加するようにしています。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○					
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			基本的に保護者を通じてご連絡いただいています。	学校によってきちんと連絡をいただける所と、連携が足りないところがあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○		中高生が多い為、今は行っていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			○		まだ卒業した児童がいませんが、来年は高校3年生の児童がいますので、情報提供できたらと思っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			○		定期的には行っていませんが、研修を受けた際に助言をいただくことはあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			○		外出先で交流する程度で、活動の機会としては設けていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			○		今年度は参加の機会がありませんでした。来年度以降はできるだけ参加できるようにしたいです。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			○		保護者会を開催し、情報交換の場とさせていた だいています。	保護者会を開催しておりますが、ご家族様対象の研修は行っていません。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○					
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○					
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○					
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○					
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			○		保護者会を開催し、情報交換の場とさせていた だいています。	兄妹の参加はまだ実施していないので、今後導入していきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○					
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○					

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		策定していますが保護者に周知できていないものもあるので、毎年お渡しするようにしていきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		策定していますが、準備・訓練が不十分に思うところがあるので、改善していきたいと思えます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			てんかん発作が起きたときのマニュアル等、看護師が作成したものを掲示しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				該当者なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			○		策定していますが保護者に周知できていないものもあるので、毎年お渡しするようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				